



令和5年9月15日

学校スローガン

学校だより 9月号 「残り姿を 美しく」

鹿児島市立松元小学校

くすのき

<http://keinet.com/matsumos/index.htm>

生活目標

「109月

機あ い さ つ を し よ う  
敏い さ つ を し よ う

保健目標

「109月

生 活 リ ズ ム を 整 え よ う  
目 を 大 切 に し よ う

## 今朝、自分で起きた?

校長 雪丸 堅

登校指導の折、ときどき、子供たちにたずねています。「今朝、自分で起きた人?」「自分で起きました!」「なぜか、お休みの日は起きられるけど…」、子供たちの返事は様々です。

「早寝早起き朝ごはん」「朝を制するものは一日を制する」「早起きは三文の徳」など、早起きのよさを表す言葉が多くあるように、昔から早起きの習慣を身に付けることの大切さが語られてきました。

そこで、改めて「早起きのよさ」について確かめてみたいと思います。「早起きのよさ」は数多くあるようですが、今回は、三つほど取り上げてみたいと思います。

まず、「生活リズムが整う」というよさです。毎朝同じ時間に起きて朝日を浴びることで、体内時計がリセットされ自律神経が整い、健康的に過ごすことができます。早起をすると、朝早くから活動することになるため、早寝もしやすくなります。早寝・早起きの生活リズムが整ってくるのです。

次に、「余裕を持って一日をスタートできる」というよさです。早起きをすると時間に余裕が出てきます。一日の予定や活動手順などを事前整理しておくことで精神的にも余裕が生まれ、その後の活動に前向きな気持ちになり、一日を気分よくスタートできます。さらに、余裕をもって家族と会話しながら朝食をとることで、家族の一員として精神的に満たされ情緒が安定します。情緒が安定すると自分自身に自信がもてるようになってきます。学校での学習にも積極的になり集中力が増してきます。まさに、「朝を制するものは一日を制する」です。

最後に、「自分からすすんで起きることによって自立心が育つ」というよさです。自分の決めた時間に朝早く起きると意志が強くなってきます。朝早く起きるという行動そのものが「やればできる」という自信をもたせてくれるのです。継続は力なり、習慣は偉大なりとはよく言ったものです。

先人は「家庭は習慣の道場である」と言っています。家族みんなで協力し合い「早起き」を習慣付けていきたいものですね。

## 愛校作業へのご協力ありがとうございました!

8月20日(日)に第2回PTA愛校作業が行われました。早朝にもかかわらず、今回は各学年2,3組の保護者の皆さんが多数参加され、校舎内外の清掃、校外駐車場の草刈りに御協力いただきました。2号館の耐震工事が始まり、なかなか思うように作業が進められない箇所もありましたが、2学期、子供たちが気持ちよく学校生活をスタートできるよう教育環境を整えてくださいました。本当にありがとうございました。



## 学校給食費一部支援補助金交付について (お知らせ)

物価高騰の影響を受ける保護者の皆さんの負担軽減を図るため、学校給食費の一部を支援する補助金を鹿児島市が交付することになりました。これによって、9~11月分の給食費の徴収(保護者負担)がなくなり、12月分も全額徴収ではなく、一部徴収となります。詳細につきましては、毎月の校納金のお知らせ文書を御覧ください。

## 給食着の補修をしていただきました!

本年度も、学校支援ボランティアの方々に給食着の補修をお願いいたしましたところ、昨年度に引き続き、地域にお住いの島田良子さん、東妙子さんがほつれ箇所等の補修を行っていただきました。おかげさまで、どの学級も2学期、気持ちよく給食の時間を過ごすことができます。本当にありがとうございました。

## おめでとうコーナー

第74回県図画作品展

県特選 2年 宮本 雪実  
4年 大西 海那

令和5年度 「市民あいさつ運動」推進標語

入選 3年 阪本 彩心

令和5年度二コ二コ月間作品コンクール

ポスターの部 入選 4年 鮫島 みなみ  
標語の部 入選 1年 牧 央恭

# 学校評価へのご協力 ありがとうございました。

7月のお忙しい中、学校評価への御協力ありがとうございました。今回の結果は右記のとおりとなりました。皆様から頂いた御意見を真摯に受け止め、2学期以降の教育活動に生かしてまいります。11月の学校評価にも御協力をお願いいたします。

## 《松元小ウォッチング》



7月20日(木)  
【1学期終業式】  
2年生の代表児童による1学期の反省が行われました。式後は、夏休みの生活の仕方についての指導が行われました。



9月1日(金)  
【2学期始業式】  
4年生の代表児童による夏休みの反省と2学期の目標発表が行われました。他の児童へのよい刺激となったようです。

## 今後の行事予定

### (9月)

- 21日(木) クラブ活動
- 25日(月) 放課後子ども教室 校納金引落日
- 28日(木) クラブ活動

### (10月)

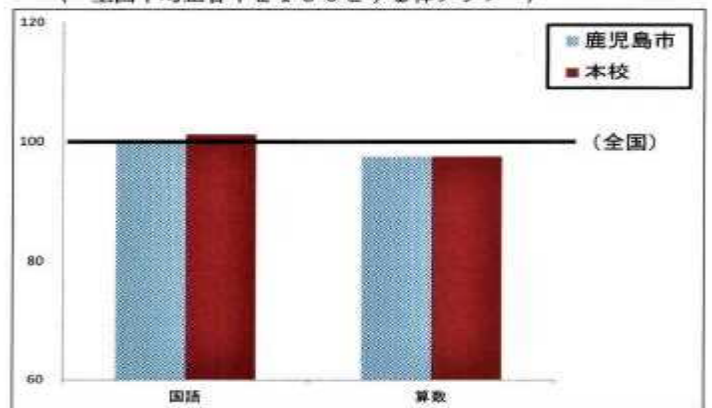
- 3日(火) 港湾出前授業(5年)
- 4日(水) おもちゃ大会(2年)
- 5日(木) クラブ活動
- 10日(火) 身体計測・視力検査(4年) 色覚検査(4年希望者)
- 11日(水) 身体計測・視力検査(3年) (あすなろ・ひまわり)
- 12日(木) 国体「卓球競技」観戦(高学年)
- 13日(金) 身体計測・視力検査(5年) 委員会活動
- 14日(土) 土曜授業 身体計測・視力検査(6年)
- 16日(月) 身体計測・視力検査(2年) 児童代表委員会・児童保健委員会 学びふれあいタイム 放課後子ども教室
- 17日(火) 身体計測・視力検査(1年)
- 19日(木) 稲刈り(5年)
- 24日(火) 修学旅行(~25日)
- 25日(水) 校納金引落日
- 26日(木) 休養措置日(6年)
- 27日(金) 持久走前健康診断
- 30日(月) 放課後子ども教室

評価項目	令和5年度(1学期)				
	5	4	3	2	1
	%	%	%	%	%
1. 学校は、一人一人の学力向上に取り組んでいますか。	28	50	15	4	3
2. 学校は、子供の学力や努力している様子を適切に評価していますか。	34	50	11	4	1
3. 家庭では、学年に応じた目安時間(20分+10分×学年)以上を守って家庭学習に取り組ませていますか。	17	26	42	11	4
4. 家庭では、読書に親しんでいますか。	25	19	37	17	2
5. 家庭では、決まったお手伝いを習慣付けていますか。	12	30	40	15	3
6. 学校は、親切で懇話深い子供の育成に取り組んでいますか。	26	47	20	4	3
7. 学校は、喜んで気持ちのよいあいさつができる子供の育成に取り組んでいますか。	33	47	12	4	4
8. 学校は、ほほえみを守り協力し合って生活する子供の育成に取り組んでいますか。	34	49	11	3	3
9. 学校は、子供の相談に適切に対応していますか。	31	49	14	4	2
10. 家庭では、ほほえみをそそえるように取り組んでいますか。	20	37	38	4	1
11. 家庭では、思いやりのある言葉遣いや気持ちのよいあいさつを実践していますか。	20	46	28	6	0
12. 学校は、自ら運動に楽しみ、体力づくりに励む子供の育成に取り組んでいますか。	35	50	10	3	2
13. 学校は、給食を通して、食事が心身の健康づくりに大切な役割を果たしていることを理解できるように取り組んでいますか。	34	52	7	2	5
14. 学校は、日常生活及び災害時等に安全な行動ができるように取り組んでいますか。	41	47	7	3	2
15. 家庭では、「早起・早起き・朝ご飯」に取り組んでいますか。	31	46	17	3	3
16. 家庭では、望ましい食習慣の形成を図り、心身の健康づくりに努めていますか。	17	61	16	4	2
17. 学校は、学級・学校だより、ホームページ等で教育活動の様子を適切に広報していますか。	40	45	10	3	2
18. 学校は、教室や廊下の掲示物など、教室環境を適切に整備していますか。	43	45	7	3	2

## 令和5年度全国学力・学習状況調査分析 を指導に生かして!

4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果を受けて、学校として、下記のように分析を行いました。今後の指導に生かしてまいります。

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について  
 本校・市・全国の平均正答率の比較  
 〈全国平均正答率を100とする棒グラフ〉



### (2) 本校の課題に対する改善策

- 〔国語〕●課題 ◇改善策  
 ●資料から分かったことを読み取り、自分の考えをまとめる。(書く)  
 ◇演習問題等を使ってのスキルトレーニングを実施する。  
 授業の導入や書段の日記の中で課題作文等に取り組みさせる。  
 ●話の内容をとらえ、相手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる。(書く)  
 ◇演習問題等を使ってのスキルトレーニングを実施する。  
 授業の導入や書段の日記の中で課題作文等に取り組みさせる。
- 〔算数〕●課題 ◇改善策  
 ●三角形、台形、正方形の意味や性質  
 ◇演習問題を通して理解の徹底を図る。
- 〔質問紙から〕  
 ●全国、鹿児島県それぞれ比較しても「規範意識・自己有用感」が低い。  
 ◇全教育活動を通して、ルールを遵守することの大切さ(価値)を粘り強く指導していく。  
 ◇子供たちそれぞれが学級(学校)への所属感を高められるような手立てを講じていく。